

大分教育事務所訪問 49

# 大分市立東陽中学校から学ぶ

## 学校経営から学ぶ

学校スローガン「挑戦と感謝」を掲げ、学校の教育目標「豊かな創造力と 温かい思いやりの心を持ち たくましく生きる生徒の育成」を実現するために、この目標の設定理由やそれぞれの意義の共通理解を丁寧に行っています。そして、この最上位目標を具現化するために、本年度は3つの重点目標「わかる授業を通して意欲的に学ぶ生徒」「心豊かな生徒」「自治活動ができる生徒」を設定しています。注目すべきは、学校経営計画（評価）の各取組項目を重点的取組と具体的な取組指標に分けて記載し、検証については生徒の姿を中心に行い、改善策を定めています。その際の、検証改善サイクルも、教科は単元毎に、学級や学年は月1回行うなど短期的に行っていることでより効果的な改善が期待されます。

今後は、学校の教育目標をより具現化するために、協議で出された『『うれしい』『ここを教えてください』』等自分の思いや、自分が考えたことを自分の言葉で表現できる」というような、学校が育成を目指す資質・能力（「言語能力」等、教科横断的な資質・能力）を定めることで、それぞれの取り組みが、何のため（生徒にどのような力をつけるため）に行うのかを意識して実践できると思いました。

## 授業から学ぶ

分散登校のため、授業を参観することは叶いませんでしたが、事前に校内研究について資料と質問項目を示して頂き、協議には研究主任を同席させて説明を行うなど、「わかる授業」に向けての真摯な取り組みを感じました。2学期は「ふりかえり」に焦点化した研究を行うようで、教科担任制である中学校ではとても価値のある取り組みだと思えます。是非とも推進をしてください。そして、広く発信してほしいと願います。

今後は、指導案にある「振り返り」には、生徒がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常の実践を行うことで授業力がより向上すると思いました。

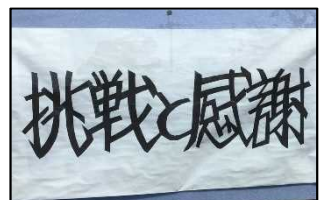
最後に、石川校長先生の「今度は是非、生徒達の授業の様子を見てください！」という力強い言葉が印象的でした。生徒の姿から学ぶ。教師は授業で勝負する！現状に満足せず、学び続ける教職員集団の姿勢を感じることができました。



NO.233 2021年9月 東陽中学校

### 場をつくる

主体的に学ぶ生徒を育成するために、生徒と共に環境をつくる。



NO.233 2021年9月 東陽中学校

### 受け継ぐ

変化の激しい時代にあって、伝統を受け継ぐために、変わらなければならない。それが、成長だ！

